

5月のてがたんは雨のため、残念ながら中止となりました。下見で観察できた生きものの記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回6月のてがたんは、6月10日(土)で、「生きもののカタチとデザイン」がテーマです。ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のてがたん下見は、6月4日(日)の9:30からです。

5月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→手賀沼遊歩道→藤棚→市民農園
- 観察日時と天気：2017年5月7日(土) 10:00～12:00 晴れ
- 市民スタッフ：4人 (湯瀬一栄、弘實さと子、石原直子、小泉伸夫)
※太字は今月の案内人
- 鳥博職員：2人 (齊藤安行・美濃亜理彩)

観察した生き物の記録

【鳥類】

キジ科：キジ(声のみ) /カモ科：カルガモ /カイツブリ科：カイツブリ /ハト科：キジバト /ウ科：カワウ /サギ科：アオサギ、ダイサギ /クイナ科：バン、オオバン /チドリ科：コチドリ /シギ科：タシギ /カモメ科：ユリカモメ /キツツキ科：コゲラ /ツバメ科：ツバメ /モズ科：モズ /ヨシキリ科：オオヨシキリ /カラス科：ハシボソガラス /シジュウカラ科：シジュウカラ /ヒヨドリ科：ヒヨドリ /ウグイス科：ウグイス(声のみ) /メジロ科：メジロ /ムクドリ科：ムクドリ、コムクドリ /スズメ科：スズメ /セキレイ科：ハクセキレイ /ホオジロ科：ホオジロ /アトリ科：カワラヒワ /外来種や家禽：コブハクチョウ

【昆虫・クモの仲間】

チョウ目：ヤマトシジミ、ルリシジミ、ベニシジミ、モンシロチョウ、キタキチョウ、モンキチョウ、ナガサキアゲハ、シャクガの仲間、ドクガの仲間の幼虫、オビカレハの幼虫、セグロシャチホコの幼虫 /ハエ目：シマアシブトハナアブ /甲虫目：ナナホシテントウ、ナミテントウ、エノキハムシ、コガタルリハムシ、ジョウカイボンの仲間、コメツキの仲間、エノキハムシの幼虫 /ハチ目：クマバチ、コハナバチ、セイヨウミツバチ、ルリチュウレンジ、/カメムシ目：ホシハラビロヘリカメムシ、ヨコヅナサシガメ、コメツキの仲間 /ガガンボ科：ガガンボの仲間 /クモの仲間：コガネグモ、ゴミグモ、コクサグモ、ハエトリグモの仲間

【草の花】

キンポウゲ科：ケキツネノボタン、タガラシ /ケシ科：ナガミヒナゲシ /ナデシコ科：コハコベ、ウシハコベ、ノミノツヅリ /タデ科：ギシギシ、エゾノギシギシ /アブラナ科：ナズナ /バラ科：ヘビイチゴ、オヘビイチゴ /マメ科：カラスノエンドウ、ツメクサ、シロツメクサ、コメツブツメクサ /アカバナ科：アカバナユウゲショウ /カタバミ科：カタバミ、アカカタバミ、オッタチカタバミ、ムラサキカタバミ /セリ科：ヤブジラミ /ムラサキ科：キュウリグサ /シソ科：ホトケノザ、ヒメオドリコソウ /オオバコ科：オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、オオカワヂシャ /キク科：セイヨウタンポポ、ノゲシ、オニノゲシ、ノボロギク、オオジシバリ、オニタビラコ、ニガナ、ハハコグサ、チチコグサ、ウラジロチチコグサ、ハルジオン /イネ科：チガヤ、コバンソウ /ハエドクソウ科：ムラサキサギゴケ /アヤメ科：キショウブ、ニワゼキショウ、オオニワゼキショウ /ハエドクソウ科：トキワハゼ、ムラサキサギゴケ

【樹木の花】

ヤシ科：シュロ /ツツジ科：ツツジ /バラ科：コデマリ、サトザクラの一品種

観察した生き物の記録

今回のてがたんのテーマは「鳥の子育て」でした。残念ながら雨のため中止になりました。7日の下見の際に観察した生き物を紹介します。手賀沼遊歩道を歩きながら、鳥の子育ての様子を観察しました。



今月の案内人

弘貴さと子さん

伊東茂子さん



①博物館裏のサクラに付いていたドクガ科の仲間の幼虫。



②羽化直後（下）から成長順に並ぶヨコヅナサシガメ。



③巣へと餌を運ぶシジュウカラ。



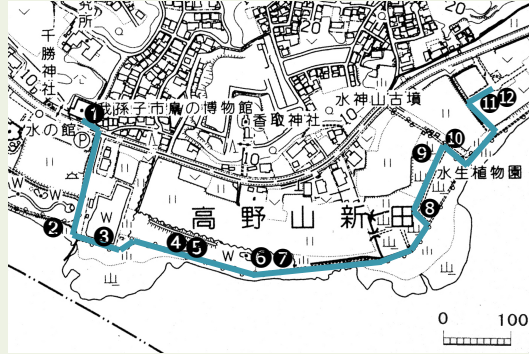
⑤背面にある黒い点が特徴のホシハラヒロヘリカメムシ。



⑥けやき広場のサクラに付いていたオビカレハの幼虫。



④さえずるオオヨシキリ。オス同士のなわばり争いも見られました。



歩いたルートと観察した生き物



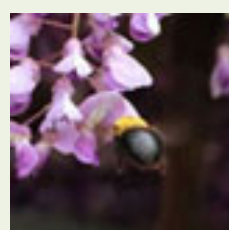
⑨藤棚付近で巣立ったモズの幼鳥。クマバチを食べる様子も見られました。



⑦遊歩道沿いで咲いていたオオジシバリ。



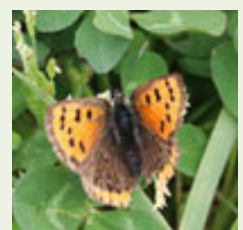
⑧シュロの花。花期は5月から6月。



⑩フジの花の蜜を目当てに飛んできたクマバチ。



⑪市民農園のトイレで今年も繁殖していたツバメ



⑫ベニシジミの春型。後翅が摩耗していました。

今月の鳥 キジ

キジ目 キジ科

我孫子市では1年中見られる日本の国鳥です。明るい草地に生息し、植物の種子や芽、昆虫などを食べます。

繁殖期になるとオスは、母衣打ちと呼ばれるなわばり宣言や、メスへのアピールをします。「ケーンケーン」と鳴く声と、「ドドドッ」と翼を打ち付けるドラミングの音が聞こえるようになります。

オスは6月から7月頃まで、なわばりを保持することに専念し、アピールを続けます。メスは地面に枯れ草を敷いて巣をつくり、単独で抱卵、子育てをします。



抱卵中のキジのメス